



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
- アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
- 東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
- 「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
- あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
- 東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

2024年10月号
NO 577

「その人に憐れみをかけた人です」「行って、あなたも同じようにしなさい」
ルカによる福音書第10章37節

まだ力になれますか？ 大野 貞次

本棚にこんな題名の本が置いてある。「老いの力」また「若者たち」さて中身はなんだっけ？考えるが思い出せない。読み返す気持ちにもならなくなりました。悲しいかな年老いてる証拠ですね。

私はクラブのお荷物になりつつあります。今年に入って自転車で3度転びその都度、骨折をし、足の衰えをつくづく感じさせられています。

さてクラブの先行きですが、この老年力を使ってどのように活動して行けばと考えますが良き案が浮かびませんが、7月になってから東京西クラブ・東京多摩武蔵野クラブ・東京たんぼぼクラブとの合同例会を今年度から開始しました。

おかげで良い刺激になり、例会の楽しみが増えましたね。しかしどのクラブも年齢が高く若者が

少なく活動範囲が広がりません。ですから私が楽しむ駄句の活動に絞ってゆきたいと思っておりますので、少し時間を下さい。また嘆き節になりすみませんが（汗）。

-WHO・9月報告-

3ヶ月ぶりに開催した9月28日(土)は、雨が上がり秋風が立つ涼しげな日となり、35人が参加されました。JR 新橋駅南改札口に集合。約3ヶ月ぶりのウォーキングですので、無理をせずゆっくりと階段を使わず平坦な道を選びながら、今年370周年の歴史を持つ浜離宮恩賜庭園に向かいました。お花畑では鮮やかなキバナコスモスとピンクのコスモスとのちょうど端境期にあたり、汐留のビル群をバックに記念撮影をしました。花木園の売店で一休みし、「くずもちバー」などで疲れを癒やした後、新銭座鴨場、八景



WHO：高層ビル群を背にコスモスの花畑で記念撮影

山、中島橋、お伝い橋をめぐり、野外卓広場にて解散しました。昼食後は、皆さんそれぞれ体調に合った散策をされ、都会の中でホッと空間を少しでも味わっていただけたのではないのでしょうか。(WHO事務局)

お知らせ

今回は都電荒川線シリーズを予定していましたが、担当の関喜一郎さんが体調不良のためWHOはしばらくお休みになりました。

クラブ役員

- 会長 神谷 幸男
- 副会長 本川 悦子
- 書記 村野 絢子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

9月の記録				ニコニコ	0円
在籍者数	12人	武蔵野多摩	2人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人	たんぼぼ	4人	ファンド残高	114,715円
出席者数	10人	ビジター	1人	ホテル校ファンド	6,060円
メーカーキャップ	1人	ゲスト	2人	ホテル校残高	9,399円
出席率	100%	出席者合計	19人	WHO参加者	35人

10月合同例会のご案内

強調テーマ：ASF

3クラブ合同例会の利点はそれぞれのクラブの持ち味が生かされることです。

今回もたくさんの ZOOM 参加のお客様を歓迎いたします。

<https://us06web.zoom.us/j/82867189989?pwd=S0Gpq2ObHwQb5aVJbHZ3PuwVIdqUP7.1>

ミーティング ID: 828 6718 9989
パスコード: 998668

日時：10月10日(木) 18:30~20:30
会場：東京YMCA山手コミュニティーセンター
303号室
会費：1,300円
担当：B班(大野、河原崎、高嶋、村野絢、横山)

HAPPY BIRTHDAY

4日 小畑 貴裕 16日 江夏 一彰

食前の感謝と黙祷

開会点鐘

開会挨拶 東京武蔵野多摩会長

ワイスソング(音源:渡辺)

聖書朗読

ゲスト・ビジター紹介

卓話 健康カフェ「誤嚥性肺炎について」
東京武蔵野多摩クラブ 江夏 一彰さん

ハッピーバースデー

ニコニコ

ワイズ報告

YMCA 報告

閉会点鐘

東京たんぼぼ会長 小原史奈子

受付 山口 直樹
司会 宮内 友弥
一 同
宮内 友弥
渡辺 大輔
一 同
江夏 一彰
3クラブ会長

ZOOM 参加の方は 19 時の卓話からの参加をお勧めいたします。

—9月事務会報告—

日時：9月26日(木)

16時30分~18時

会場：阿佐谷地域区民センター
出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、本川、村野繁

<会計報告>

別紙報告書で承認された。

<協議事項>

議案① 11月例会の件(当クラブが担当)

例会イベント提案として神谷会長から「ヨーデル歌の集い」が出され、実現に向けて交渉を一任した。

議案② 2025年在京ワイズ新年会の件

実行委員長は神谷会長として全員で協力する。

【イメージの確認】

日時：2025年1月11日(土)
時刻未定

会場：東京 YMCA 東陽町センターホール 1F

プログラム：懇親会の余興としてアマチュア落語家・橘ノ百圓さんに依頼済

参加費用は過去の会の金額を参考にする。

開催予備知識としてメンバー全員で会場(東陽町 YMCA センター)の下見をする意見があったので後日打ち合わせをする。

提供する食事内容は出席予定者の確認と並行して進める。

議案③ 他クラブ主催集会等の出席者確認

○あずさ部部大会

10月19日(土)山梨県石和温泉

出席予定：神谷、高嶋

○東京八王子クラブ設立30周年記念例会

10月26日(土)11時~14時

八王子エルシイ4F杉の間

出席予定：石井・神谷・河原崎・篠原・本川

(書記代理・篠原文恵)

卓話者紹介



江夏 一彰(えなつ・かずあき)さん

東京都立多摩総合医療センター病理診断科医師。

日本聖公会 司祭(2012年~) 聖ミカエル保育園・聖十字幼稚園園長

約10年前から、NPO法人多摩の医療健康増進フォーラムの活動で健康増進カフェを行っている。





9月合同例会：3クラブが集うと賑やかです

— 9月合同例会報告 —

9月19日3回目の合同例会で、たんぼぼクラブから紹介の押山愛紀子さんによる「多文化共生スペース」の活動報告を伺いました。

活動は多岐にわたり、子どもの居場所・学習サポート（おとなりさん）、外国にルーツのある子どもたちの学習・外出プログラム（みっくす）・若者の居場所（食事の会）・障がいのある方の余暇活動・バザー等…YMCA 南センターを基盤に広く展開しているそうです。

（篠原文恵）

出席者：＜メンバー＞山口・渡辺（東京武蔵野多摩）、小原・服部・藤江・小畑・波々壁（東京たんぼぼ）、石井・大野・河原崎・神谷・篠原・高嶋・村野絢・村野繁・吉田・横山（東京西）、＜ゲスト＞押山愛紀子（卓話）、＜ビジター＞石田（東京多摩みなみ）、＜ZOOM参加＞藤井弥生（大阪なかのしま）、

伏木康（札幌）、清水弘一・関川祐一郎（石巻広域）、長津徹（東京サンライズ）、江尻明子（東京武蔵野多摩）

20回記念富士山例会は日本一高い場所で

9月28日（土）～29日（土）は恒例の富士五湖、東京サンライズ、東京武蔵野多摩、3クラブ合同の第20回富士山記念例会が行われました。会場は海拔2,300mにある佐藤小屋です。

新宿～富士五湖（JR、富士急行）直通的富士回遊特急で富士山駅まで列車は満席で、指定券を持っていない乗客はデッキ、通路にあふれていました。そしてそのほとんどの乗客が外国人でした。

富士山駅に富士五湖クラブの後藤さんが迎えに来て下さり例会はピーターあずさ部長の公式訪問、北は北海道の北見クラブ、西は京都洛中クラブ、京都プリンスクラブの参加、コメント、ゲスト、ワイズメン約48人が集いました。原淑子富士五湖クラブ会長の開会点鐘、ピーター・マウントフォー

ドあずさ部長の挨拶と進み御園生好子東京サンライズクラブ会長の閉会点鐘で第1部は閉会しました。今年は富士山例会20回記念例会なので、“おもてなし”では全員に富士山クイズの用紙が配られ、まだ高度に順応してない頭をしぼられました。クイズの結果、1番はイギリス人のピーターさんに記念品が贈られ、2位以下の人は後藤昭子さんが撮り続けている富士山の写真をプリントした手提げバッグをいただきました。2部は恒例のBBQ、食べ放題、飲み放題、しゃべり放題で夜は更けました。あいにくの曇り空で美しい天の川と街の灯り、翌朝のご来光ウオークは雨のため中止でしたが、朝食後のお中道散策は雨に降られず歩きました。温泉に入り、ビールを飲んで帰途につきました。富士五湖クラブ他2クラブの皆様のおもてなしに感謝した20回記念富士山例会でした。（本川悦子）



タイ国際大会（9月号から続く）

国際大会閉幕後、日本人グループはバスに乗ってチェンマイツアーに出かけました。

古い城壁都市の中にある古い寺院を訪問し、将軍家一族の集合墓地を見学、将軍家の死体焼却炉が隣にありましたが現在は仏像が納められていました。寺院に入るには、それなりの服装で、女性は半ズボンはいけません。履物を脱いで入ります。

最後は首長族の村訪問です。水曜日に生まれた女の子が首長の処置をしてもらえます。山の細道の両側にお店を開いています。店長は皆首長です。ここの買い物でタイパーツを使い切りました。半



墓の公園：オプションで訪れた将軍家の墓は純白の宮殿のようでした。右は首長族の少女。



袖シャツ、鼻長の象お面、木彫の茶たく、首長栓抜き、と000栓抜き、飾り小物10個買ったら1つおまけにしてくれました。最後の夕食は古い建物での踊り見学とタイ料理でした。

その後、バスで空港に向かい12日00:45に出発し、仁川経由で11:20成田空港に到着しました。タイと日本は時差2時間です。楽しいタイ国際大会でした。

（村野 繁）

日々の中から 突然の来客

村野絢子

夕食を始めた時だった。来客のチャイムが鳴り、男性の姿。誰だろう「玄関どうぞ」はつきり聞こえなかったが懐かしい名前のH・E君？ 玄関を開けると「昔Hさんにお世話になったEです」と言う。

それは45年前、養護施設からHさん宅の家族として迎えられていたH・E君52歳になっていた。「よく義母と村野さんの家に遊びに来ていたから直ぐ判りました」と言う。「今は都下の〇〇市の郵便局で働いています。赤い車で走っています」と言う。

袋からスナップ写真の束を出して。「1年1組担任は女のN先生だったと、義母が古い名簿を残し

てくれていたので分かりました」と嬉しそう。先生や友達が映っているスナップ写真を次々見せる。「一緒に遊んだK君の家は近いですか」「すぐ近くよ、夕食時の今なら会えるから案内するわ」…「えっ村野さん！」と暗い中、門まで出てきたKさん、「Hさん宅にいたE君が訪ねて来てくれたのよ」「まあ…よく訪ねてくれたわね」と喜んだ。写真の中のE宅も近い、と足を延ばした。

チャイムを鳴らすと「どちらの村野さん？」といぶかしげな様子、近くでも何年もあっていない。判って大笑い。E宅では、親子でいっしょに海に行った思い出話なども弾んだ。

家族で兄たちとスキー場の1枚、水着姿や教室でなどなど…彼がいつも束にした古い写真を持ち歩いていることがよく分かった。

去年45年振りにHさんを訪ねたと言い、2回目ですと笑った。「今度はゆっくりお話ししましょう」と別れた

自分の今の名前はN・Eですと最初に言ったのがとても自然だった。あれからどんな人生を歩んだのだろう。立派な社会人になった姿はHさんの大きな喜びだろう。「義母も村野さんに会いたがっています、会いに行ってください」の言葉を残して帰った。嬉しい訪問客であった。



YMCA Today

■ホテル学校では今年も1年生が8月下旬に野尻湖スポーツ合宿に行ってきました。1年生は9月第2週からホテル実習が始まりましたが、2学期は2年生を中心にたくさん学校行事あります。先日行われたチャリランでは昨年の過去最高位の3位を上回り、見事1位！ 学生は久しぶりの全力疾走に向け準備万端で挑んだ勝利でした。10月は和食と中華のテーブルマナーがあり、11月には国際協力街頭募金、山手まつりとYMCAイベントへも参加します。そして12月には海外研修があります。今年には香港・マカオコース、バンコクコースに分かれ実施します。旅程やお買い物を計画する楽しい時間がこれから増えてきそうです。

■「第38回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2024」が9月28日に立木場公園で開催。当日は全国大会委員長で、パリ2024パラリンピック競泳メダリストでもある富田宇宙氏も参加し、企業・団体・東京YMCA

各部署など41チームがエントリー。ランナーと伴走者が力いっぱい走りました。お手伝いのボランティアや応援者なども大勢来場し、たくさんの方に支えられた大会となりましたことを感謝申し上げます。

■9月21日～22日の石川県能登地方の記録的豪雨により、東京YMCAが1月の震災後避難所運営支援を行ってきた輪島市町野町も大きな被害を受けています。今後全国のYMCAが協力し、現地視察の上で、支援活動について検討していきます。「2024年9月能登半島豪雨緊急支援募金」を開始しています。

■「日韓YMCA連絡委員会」が9月8日～11日に韓国のソウルで開催され、東京YMCAの2人を含め、全国YMCAから15人が参加しました。日韓YMCA交流活性化のための情報共有や協議の他、韓国YMCA連盟110周年の式典にも出席しました。

担当主事 横山弥利

編集後記

暑さもやっと和らぎ秋を感じる季節となりましたね。ただ、まだ気温の変化が大きく体調を崩さない様にしなければと思います。

最近ではテレビを見ている時間が長くなり、その中で感じるのは殺伐としたニュースが多く、なぜだと思っています。物を盗む、だます、人を殺める、そして戦争と、人が傷つきなくなる。特に何の罪もない子ども達が傷つき亡くなっています。本当に悲しく怒りを覚えますが、私たちは何もできずにいます。ただ平和を祈るばかりです。私たちの活動が少しでも役に立てばと思うこの頃です。

さて今月も発行が遅れています。編集担当の怠慢ですみません。皆様にはいろいろ寄稿していただき感謝いたします。(T/O)